

いつも水道水が安全であるために

安全な水道水を安定してお届けするために浄水管理センターでは、365日24時間体制で各水道施設を集中管理し、浄水処理や配水制御を行っています。



各浄配水施設の受水量・配水量の状況や水位、水圧、水質の状態、また、電気・機械設備などを複数のモニターで24時間監視し遠隔制御しています。

市内12か所ある給水モニターで色度、濁度、残留塩素、PHなどの水質を24時間連続監視しています。



浄水所にある水質分析室では、精密機器により、水処理の工程ごとに水質検査を自動的に行っています。また、職員も計測機器の値と一致しているか実測します。



魚類監視装置は、カメラで撮影したメダカの行動を解析することで、原水(淀川の水)への有害物質の混入を常時監視しています。



他にも、平常時の設備の状態(音や熱など)を把握しておき、それらに異常がないか専門的な知識のある職員が五感で感じ取ります!



様々な機器から情報を収集しているよ!



緊急遮断弁は、地震感知器により一定規模(震度5程度)以上の揺れを感知すると、自動的に緊急閉止するバルブです。破損した水道管からの漏水等による配水池の水の流出を防ぎます。

水道の大きな課題

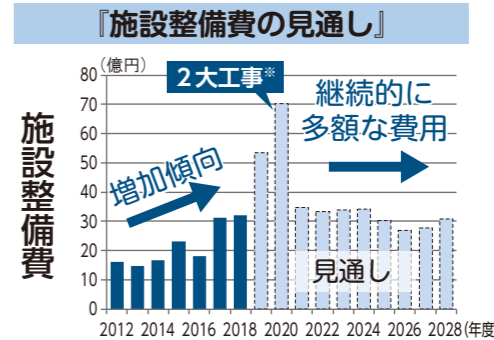
“吹田市の水道は料金収入をもとに独立採算制で経営しています。”

課題のポイント1

水道施設の更新・耐震化

蛇口から「あたりまえ」のように水が出る水道を保つためには、**水道施設の整備とその財源確保が必要です**

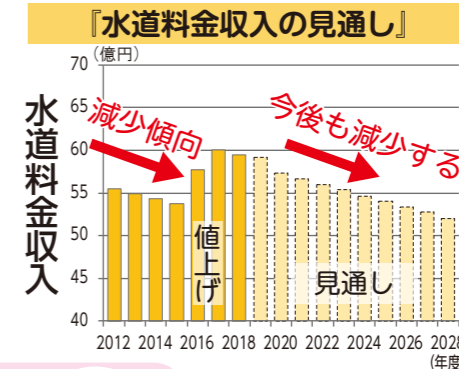
※2大工事は:①片山浄水所水処理施設更新工事(昭和28年に建設した浄水所の更新) ②片山浄水所・泉浄水所連絡管布設工事(水道管の直径1m、長さ3km)



課題のポイント2

水道料金収入の減少

平成28年4月から2年間で10%の値上げをさせていただきましたが、**水道料金収入は減少し続けています**



高度経済成長期に造った多くの水道施設が老朽化しているんだな

これからは災害にも強い水道を目指すべきじゃよ

お金がなくなると必要な水道工事ができなくなるね

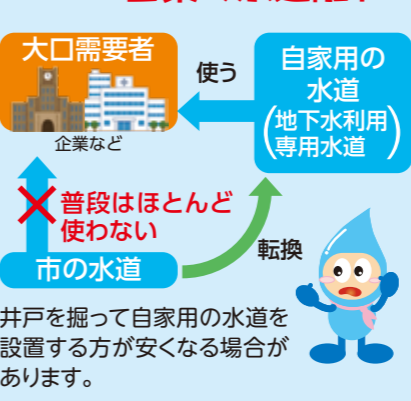
Q 吹田市は人口が増えているのになぜ収入が減るんだろう おしえてすいすいくん!

A 吹田市全体の水道水の使用量(有収水量)は、平成3年以降減少し続けているんだ。主な理由は「①節水」と「②企業の水道離れ」だよ!

理由① 節水

- トイレ: 1970年ごろと比べて使用量は1/5程度
- 食器洗い機: 手洗いと比べて使用量は1/10程度
- 洗濯機: 従来の縦型と比べて使用量は1/2程度

理由② 企業の水道離れ



でも、「節水」は「健全な水循環」のためにはとてもいいことなんだ。

この結果 吹田市では全件数の**94%**が原価割れの状態 ※メーター口径20mmの場合(平成29年度)

市民アンケート 無作為抽出2,000人

平成30年1月 回収率43.6%

水道施設の耐震化に重要性を感じている方 **98.1%**

水道施設の老朽化に問題意識を持っている方 **88.9%**

水道施設の更新・耐震化には高い関心が寄せられているんだね

水道水の売り値 製造コスト

消費税等の上昇に伴う対応 令和元年(2019年)10月1日から(予定)

●「水道料金」は12月検針分から ●「加入金」は10月1日以降の工事申込み分から ※詳細は折込のチラシ(A4判)をご覧ください。

新税率を適用します。